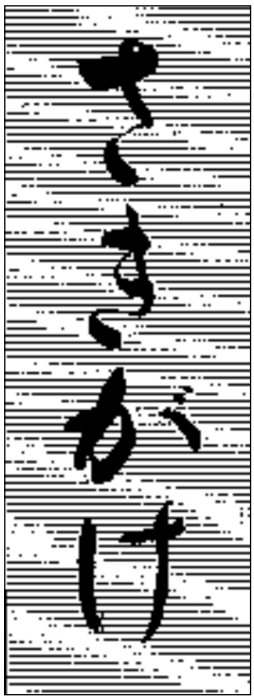

静岡県労働者学習協会　第43回総会　記念講演

中東情勢と集団的自衛権

千葉県学習協会　会長　野口宏

静岡県労働者学習協会
〒424-0105
静岡市清水区
山切45-18　多田
TEL 054-365-0433

A　中東情勢

1．中東概観

世界にはたくさんの世界観があります。いろいろな価値観を互いに認め合うことが、差別意識を排除することにつながります。

イスラム世界は、16億人（世界人口の23％）の信者がいます。

中東世界は、言語・宗派・しきたりが異なる無数の部族が混在しています。部族としては、オアシス農耕・遊牧民・商人（キャラバン・バザール）などがあり、微妙に違うモザイク社会を形成しています。

2．現在までの中東情勢

19世紀末、ヨーロッパ・ロシアで迫害されていたユダヤ人が国土獲得運動（シオニズム運動）を起こします。第一次世界大戦で英仏により、中東地域は南北に分割支配されます。大戦中にイギリスは、パレスチナにユダヤ民族居住地建設を許諾し、その直後からユダヤ人がパレスチナに移住開始し、パレスチナ・アラブ人との間に土地獲得紛争が始まります。

第二次大戦後、イスラエル独立宣言が行われ、アメリカはただちに国家承認しましたが、アラブ諸国側はイスラエルの独立を認めず、以後、中東紛争が激化していきます。

3．ソ連崩壊後のアメリカの世界戦略

ソ連崩壊により、アメリカは一国覇権主義に乗り出し、中東を支配しようとします。アメリカの軍産複合体・石油資本・ゼネコンの利益を優先するとともに、アメリカ国内の右翼勢力（ネオコン・イスラエル支援団体・宗教右翼）が反アラブ・反イスラムを強めていきます。

4．露骨な中東支配の強化

9・11同時多発テロ後、アメリカはアルカーイダの仕業と見て、これをかくまうタリバーンの支配するアフガニスタンを空爆し、カルザイ傀儡政権を樹立します。また大量破壊兵器の保有をでっち上げてイラクに先制攻撃し、マリキ傀儡政権の下で、イラクの国営企業を民営化し、アメリカ資本に吸収、石油や戦後復興の公共事業を一手に引き受

けて儲けています。

5．ＩＳについて

アメリカの国益優先の中東支配・介入によって滅茶苦茶にされた中東内から、過激な暴力主義をとるイスラム原理主義が台頭してきます。ＩＳ（自称イスラム国）は、アメリカによって破壊されたアラブ世界を、有無を言わせず統一し、かつての巨大なイスラム世界を復活させるため、ＩＳと異なる宗派や従わぬものは、斬首・奴隷化・女性の私物化などによる恐怖支配を行っています。ＩＳの下には、西欧のエセ民主主義に絶望して参加する若者たちもいます。

Ｂ　集団的自衛権

1．集団的自衛権とは

国連憲章を決めた会議で、アメリカは米ソ対立に備え、ラテンアメリカ諸国を囲い込むために集団的自衛権という言葉を付け加えました。

2．日本は集団的自衛権を行使できない

国連憲章に基づいて、日本が自衛隊を海外紛争に派遣できる条件はありません。また日米安保条約に基づいても、「憲法上の規定に従って」対処することになっており、集団的自衛権を行使することは違反となります。解釈でアメリカの戦争に参戦することは、立憲主義の立場から見ればあり得ないことです。

3．安倍首相の野望

安倍首相は２０１５年の新春談話で「世界の中心で輝く日本」を作りたいと述べました。これはアメリカと肩を並べて戦争のできる大国（戦前の列強）を目指すことです。さらに「戦争は教室から始まる」と言われるように、進んで国のために身を捧げる国民づくりとして、道徳教育の教科化、家庭教育への国家介入、大学への国旗・国歌の強制が行われています。

4．戦争法が通ったら？

アメリカはＩＳに対して空爆とともに地上軍の増派をしています。ここに自衛隊が後方支援として派遣される可能性があります。中東の地理、気候、戦闘法、士気など、ＩＳが全て優位です。自衛隊員の戦死や捕虜への恐怖が生まれます。

5．戦争する国になったら？

国家財政は軍事中心となり、国民へのさらなる負担が押し付けられます。自衛隊員の戦死者の扱いをめぐり、一気に戦前の日本へ、安倍首相の夢が実現することになります。生還した自衛隊員のＰＴＳＤ問題等により、社会の荒廃が進みます。国外の日本人が、テロ・拉致・人質の危険にさらされます。国内で観光地やスポーツ施設、原発などに対し、テロ攻撃が予想されます。

6．戦争法を阻止しよう

戦後70年（戦後レジーム）はダテではありません。多くの国民が戦争法の危険に気がつき始め、反対の声が広がっています。

中東における失業者・難民の援助をはじめ、人道的支援をＮＧＯ・国連機関とともに、憲法９条を掲げた国際貢献や外交こそが求められています。

【質問】

①ＩＳに参加する西欧の若者たちはどういう人ですか？

主にヨーロッパに移住してきたイスラムの人が、差別や偏見のなかで、西欧社会に失望し、ＩＳに参加しています。

②ＩＳの恐怖支配を食い止めるためには、どうしたらよいでしょうか？

力で押さえつけるのではなく、生活を保障することにより、ＩＳに従う人たちを減らしていくことができます。

「戦争法案」に反対し、憲法を守る運動を発展させよう

静岡県労働者学習協会第43回総会アピール

安倍政権は、昨年、集団的自衛権を容認する閣議決定を強行し、国会に「戦争法案」を一括して提出しました。これは日本を「海外で戦争する国」に大転換させるものです。

法案は、第一に、これまでできないとされた「戦闘地域」における自衛隊の兵站活動を可能にさせ、第二に、PKO（国連平和維持活動）のみならず、国連が統括しない場合も含め、任務の遂行での武力使用を容認し、戦乱が続く地域での自衛隊の治安維持活動を可能にさせ、第三に、日本に武力攻撃がなくとも、「我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある」（武力行使の「新三要件」）と政府が一方的に判断すれば、集団的自衛権の行使＝武力行使を行うことができるようにするものです。

これまで「日本への武力攻撃がなければ武力行使は許されない」としてきた歴代政権の憲法解釈を180度転換させ、憲法を踏みにじって、日本を「戦争しない国」から「海外で戦争する国」に根本的に変える「戦争法案」は断じて認められません。さらに安倍政権は「戦争法案」の強行を前提に、来年7月の参議院選挙後、早ければ来年の秋に改憲発議と国民投票による明文改憲の計画を企てています。まさに憲法の戦後最大の危機が訪れています。

こうした「戦争法案」の内容が明らかになるにつれ、全国各地で国民の反対運動が広がっています。６月13日には東京江東区で１万６千人、24日には国会前で３万人の集会が行われました。若者たちの行動も14日には渋谷で３千５百人、21日に京都で２千２百人のデモが行われています。国会に参考人として呼ばれた憲法学者は、与党の推薦した人も含め、全員が「戦争法案」が憲法違反であることを表明しました。元自民党の幹部である山崎拓氏や亀井静香氏等も「戦争法案」に反対する声明を出しました。全国の地方議会から戦争法案に「反対」や「慎重審議」を求める意見書が可決され、６月19日までに１１６議会に達しました。まさに歴史的な運動が始まっています。

国民的な運動を発展させていくためには、改めて日本国憲法の原点、武力によらない平和、国際的連帯と外交努力による平和の構築の意義を、国民的合意にしていかなければなりません。

静岡県労働者学習協会は、「戦争法案」に反対し、憲法を守る運動を発展させるために、「憲法と安保に強い活動家」を育てる学習教育運動に力を尽くしながら、歴史的な運動に寄与していく決意です。

２０１５年６月２８日　静岡県労働者学習協会第４３回総会

報告と討論

6月28日（日）静岡県評会議室において、静岡県労働者学習協会第43回総会が開かれました。

勤労者通信大学

２０１４年度勤通大の学習会は、県下２箇所で行われ、終了率は５１．９％でした。２０１５年度の募集はまだ一桁台で、７月まで募集活動を継続し、９月まで受講を受け付けています。

「学習の友」

・静岡支部、沼津支部、浜松支部の各支部において「学習の友」の学習会を行っています。

・読者の高齢化と職場退職により、減少傾向が続いています。また配達・集金体制も見直しが必要です。

・静岡市では会員の個人的なつながりで「寺小屋in池田学習会」というサークルを作り「学習の友」を使った学習会を行っています。

学習会

・昨年度は、「資本論学習会」、「藤枝平和学習会＝若者とつくる平和への想い」、「格差是正と富裕者課税」の各学習会が開催されました。

・静岡市では、資本論第１巻の学習会を昼と夜のグループに分けて行っています。

・全労連の通信教育（初級教育）が、６月から開催されています。

全国学習組織との協力

・学習教育運動セミナー（石川セミナー、２０１５年10月17～18日）が計画されています。

・学習組織全国連絡会議が２０１６年１月23～24日に予定されています。

その他

・教員の政治活動の禁止、小中の社会科教科書の変質、日の丸・君が代の強制などが進んでおり、18歳選挙権の実施もあり、教育問題の学習会が必要になっています。

・職場での活動家の減少に対応するための対策が必要です。

勤労者通信大学2015年度募集

勤労者通信大学は、1968年に創設され、これまでおよそ28万人が受講した、通信制の働く仲間の大学です。次の３コースがあります。

特に憲法コースは、戦争法案に反対するためにも重要なコースです。

〇憲法コース：戦争する国づくりを許さず、平和な日本を

〇労働組合コース：人間らしく生き、働ける社会と職場を

〇基礎コース：流されず、あきらめずに、しっかりと生きる力を

【９月まで受講を受け付けています 】